



JARA NEWS

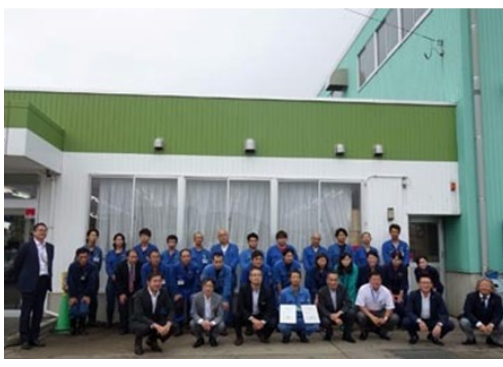
November 2016, No. 105

from
Japan Automotive Recyclers Alliance
www.jara.co.jp

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: Shirawa Bldg. 1-2-2-7F
Nihonbashi, Chuo-ku Tokyo JAPAN 103-0027
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690



JARA、三重パーツで初級生産管理者研修会



飛田テック、ARTから10年連続特別表彰

JARA、三重パーツで初級生産管理者研修会

JARA（日本自動車リサイクラーズ・アライアンス、北島宗尚社長、東京都中央区）はこのほど、三重パーツ販売（三重県鈴鹿市）で「初級生産管理者研修会」を開催した。今回は在庫管理や安全作業など基本カリキュラムに加え、新たに板金塗装（BP）に関する基礎知識を研修項目に追加。約20人の参加者はBP事業者や整備事業者など顧客ニーズに合った部品生産を行うための実践的な基礎知識を身に付けた。

JARAは今年6月に開催した「初級フロント研修会」から車体整備に関するカリキュラムを追加している。今回の初級生産管理者研修会においても座学と実車を使った研修を実施。ボディ構造や塗膜、保険などBPの基礎知識を習得することで「単に部品を生産するのではなく、顧客であるBP事業者や、その先のユーザーのニーズも踏まえて部品取りを行うためのベースにする」（同社）。

同社が初級研修会でBPに注力するのは「フロントと生産担当者が顧客と共通言語でコミュニケーションを取れるようにする」ためだ。従来は得てして「傷のないものや売れ筋を中心に部品を生産していたが、それだけではなく、プロとプロとの会話の中で顧客ニーズを聞き出し、適切な部品を提案することが重要になる」とみて、今後は中級研修などにおいてもBP関連のカリキュラムを強化していく方針だ。

（日刊自動車新聞9月29日）

飛田テック、ARTから10年連続特別表彰

総合リサイクル事業者の飛田テック（飛田剛一社長、新潟県上越市）はこのほど、ART（自動車破砕残さリサイクル促進チーム）から「10年連続特別表彰」を受賞した。同社の自動車リサイクル事業部である新潟オートリサイクルセンター（新潟県上越市）と新潟オートリサイクルセンター・下越（新潟市）の2事業所が受賞し、表彰式が行われた。同社の長年にわたる使用済み自動車の全部利用再資源化に対する取り組みが高く評価された。

ARTは、日産自動車やスズキ、富士重工業、マツダ、三菱自動車、いすゞ自動車といった国内外メーカーなど12社で構成。自動車リサイクル法に基づいて適正で効率的なリサイクルを推進しており、リサイクル事業者の取り組みを評価する表彰制度を設けている。

表彰式でARTは「日頃から全部利用にご協力いただき感謝している。表彰制度が始まったのは2006年からで、10年連続して表彰されている企業に対しては特別表彰させていただいている」と挨拶し、同社の自動車リサイクルにおける長年の貢献を称えた。

（日刊自動車新聞10月12日）

政府、シェアリングサービス 業界ごとに自主ルール

政府は、車や住宅などシェアリングサービスに関する自主ルールを業界ごとに作成させる方針を決めた。ルールを作成手法や必要な内容などについて一定の指針を示す。サービスの安全性や信頼性を確保した上で政府としても推進策を練り、シェアリング市場の健全な成長を目指す。

政府による「IT総合戦略本部」の下部組織であるシェアリングエコノミー検討会議が近く、中間報告としてまとめる。報告書は日本でシェアリングサービスを定着させるため課題などを整理し、それぞれ解決の方向性を示す。利用者同士をつなぐシェアリングサービスは責任の所在が曖昧で、事故やトラブルを懸念する消費者が多いことから、必要な規定を盛り込んだ自主ルールを作らせることにした。

ルール作りのベースとなる指針では、事故やトラブルに備えた賠償保険の加入や苦情相談窓口の設置を企業に求めるほか、事後評価制度の信頼性を高めたり、本人確認を徹底させたりする。ルールを作る際は地域社会などの意見も聞くよう求める。自社のサービスが既存法令に抵触していないかも明確に示させる考えだ。

政府は自主ルールにより利用者保護を徹底させる一方で、シェアリングサービスが地方創生などに役立っている好事例を調べて公表したり、現行法令の適用範囲が不明確な場合はあらかじめ規制適用の有無を確認できる「グレーゾーン解消制度」の利用を促すなどしてシェアリング市場の健全な成長につなげる。

（日刊自動車新聞10月6日）



「ありがとう」を
たくさんもらえる会社へ

<http://www.jara.co.jp/>



災害時の円滑な廃車処理を目指す（東日本大震災の被災車両）

◆南海トラフ地震試算、災害廃棄物 3 億トン超

内閣府の試算によると、首都直下型地震では約 9 6 0 0 万トン、南海トラフ巨大地震では 3 億トンを超える災害廃棄物の発生が予測されている。東日本大震災（約 2 千万トン）と比べてもいかに膨大かがわかる。リサイクルルートが確立している自動車は、分別可能な車両はリサイクル処理し、分別が困難な車両は破砕後、他の産業廃棄物（混合物）と一緒に選別処理する仕組みになっているが、実際の処理には課題も多そうだ。

環境省によると、東日本大震災時の被災車両は 3 0 万台超に上る。この数字は岩手、宮城、福島津波浸水地域にあったと想定される車両数から仮置き場に搬入された数を差し引いたものだ。このうちリサイクル処理されたのは約 7 万台に過ぎず、残りは海に流出し海底ゴミになったとみられる。リサイクル業界は発生後から総力を挙げ廃車処理に取り組み、震災後約 1 年 3 ヵ月後には処理をほぼ終えた。

ただ首都直下型や南海トラフでは少なく見積もっても 1 0 0 万台超の発生が見込まれ気象条件によっては焼失などで原形をとどめない車両も多く発生すると見られる。持ち主の特定や仮置き場の確保、電気自動車（EV）などの次世代自動車の処理—円滑な廃車処理に向けた課題は多く平時からの備えが求められる。

（日刊自動車新聞10月6日）

経産省、水素 S T 高压ガス設備
新制度の運用開始

経済産業省は、水素ステーション（S T）などの高压ガス設備で使う新たな部品を迅速に実用化する「ファスト・トラック制度」の運用をこのほど始めた。部品の採用評価から実用化までの期間を半年ほど縮めることが可能になるといふ。

高い温度や圧力を扱う設備は高压ガス保安法により材質や性能が決められ、国はより具体的な「例示基準」を示している。実際に安全性を審査する都道府県は例示基準をもとに設置を許可するかどうか判断しているが、新たな技術や材料を使った部品の場合は高压ガス保安協会の評価が必要で、例示基準への採用までには 2 年半かかっていた。

今後は、国による規格化を待たず、同協会の評価を得れば部品の採用を許可できるようにしたほか、評価結果を広く公開し、他の事業者が許可を得る際の手助けになるようにした。これまで認めていなかった複数企業による一括の評価申請も受け付ける。

水素 S T の常用圧力は 8 2 メガパスカル、内部の水素ガスも 1 8 0 度に達する。

CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用によるCO2削減効果
参考値 平成28年9月

3, 341t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターが LCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方に基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

水素は金属を脆くさせる性質もあり、安全確保には一定の基準が必要だが、一方で水素 S T のコストを下げるには新たな技術や素材の採用が欠かせない。経産省は安全性を確保しつつ、制度の見直しを引き続き進める。

（日刊自動車新聞10月5日）



新制度で水素 S T のコストダウンを狙う
（水素ガス容器）

PLACE AD

Advertiser wanted!

Advertise your excellent products and services to readers in the automotive recycling industry around the world!

Contact with JARA Corp.

<http://www.jara.co.jp/>

政府、廃車の処理体制構築 大規模災害時の官民連携の手引書など

政府は、集中豪雨や地震などの大規模災害時に廃車を円滑に処理する体制を作る方針だ。全国で進む災害廃棄物の広域処理計画作りと連携するほか、東日本大震災など過去の対応事例を細かく調べて官民連携の手引書を作成したり、自治体と自動車リサイクル業者の連携を促したりする。また、南海トラフ巨大地震を想定した自動車被害の推計調査も行う。頻発する災害に対応し、平時から処理体制を整えておく。

東日本大震災では 3 0 万台を超える被災車両が発生し、このうち約 7 万台がリサイクル処理された。熊本地震でも約 1 9 5 万トンの災害廃棄物が発生し、被災自治体は仮置き場の設置や処理体制の強化に追われた。環境省、経済産業省らは 4 月、被災自動車の処理方法を都道府県に通知。被災自動車を集めて保管後、ナンバーや車検証などから所有者を探して処理手続きを行ったり、所有者が判明しない場合は自治体が代わりに手続きを行って記録に残すこと。安全確保のため廃車を重ねる場合は高さ 4 ・ 5 メートル以内にするなどを求めた。ただ、南海トラフ巨大地震や首都直下型地震など、さらに深刻な災害も見込まれるため、平時から災害に備えた体制を作り、大量発生が見込まれる廃車の円滑な処理を目指すことにした。

政府は現在、自治体に広域体制を含めた「災害廃棄物対策指針」を作らせたり、図上演習費などを補助する事業を実施している。こうした制度や体制に自動車リサイクルを組み込むほか、地域内の官民連携や計画策定などを支援する考え。持ち主が判明しない「番号不明被災車」の代行処理も含め、財源は自動車リサイクル制度で発生する「特定再資源化預託金（特預金）」を充てる考え。平時の対策に 5 億円程度を充て、発災後に備え 2 0 億円程度を確保していく。

KOBELCO

We Save You Fuel
Achieving a Low-Carbon Society

コベルコが提案する 新しい考え方

マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体およびさまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。

自動車解体機

使用済み自動車に含まれる素材の分別作業がスピーディーに行えて希少金属資源の回収が可能です。



SK135SRD



SK210D

コベルコ建機株式会社
www.kobelco-kenki.co.jp/

For Japan

新构想源于神钢

多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以拆除废家电等金属制机器以及各种复合废弃物品的拆除、分类作业。

汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，能够回收稀金属资源。

SK210D



SK210D



成都神钢工程机械(集团)有限公司
www.kobelco-jianji.com/

For China

新构想源于神钢

多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以拆除废家电等金属制机器，以及进行各种复合废弃物品的拆除、分类作业。

汽车拆除机

可快速进行报废汽车内部素材的分类作业，得以回收稀有金属资源。

SK200



SK200



FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD.
www.ffg-tw.com/

For Taiwan

새로운 발상은 KOBELCO에서

멀티 해체기

응도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의 해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR

(주)삼정건설기계
www.samjung-kenki.co.kr/

For Korea

New ideas come from KOBELCO

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.



SK210D

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.
www.kobelco-usa.com/

For North America

New ideas come from KOBELCO

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.



SK135SRD

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY AUSTRALIA PTY LTD
www.kobelco.com.au/

For Australia

New ideas come from KOBELCO

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.

Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently separates and sorts raw materials in end-of-life vehicles and is able to recover rare earth metals.

SK210D



SK210D



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.
www.kobelco-europe.com/

For Europe